

7 外国人人口

外国人人口は37,301人で、平成12年調査に比べ6,453人、20.9%増加した。増加率は前回(24.4%)を下回ったが20%を超える高い伸びとなった。地域別にみると、鹿行地域が56.7%の増加で前回(39.6%)に引き続き最も高い伸びを示している。地域別の構成比をみると、大きい順に県南地域、県西地域、鹿行地域、県央地域、県北地域となっており、県北、県央地域が縮小しているのに対し鹿行地域は拡大している。(表—35、第23表)

国籍別にみると、最も多いのが中国8,415人で、次いでブラジル7,587人、韓国・朝鮮4,720人、フィリピン4,471人、タイ3,604人の順となっている。平成12年ではブラジル、中国の順だったが、今回は中国が最多となった。増加率では、中国、フィリピンが非常に高く、構成比でも、12年と比べて拡大しているのは中国、フィリピンのみである。(表—36、図—19)

表—35 外国人人口の推移(平成7年～平成17年) —県・地域—

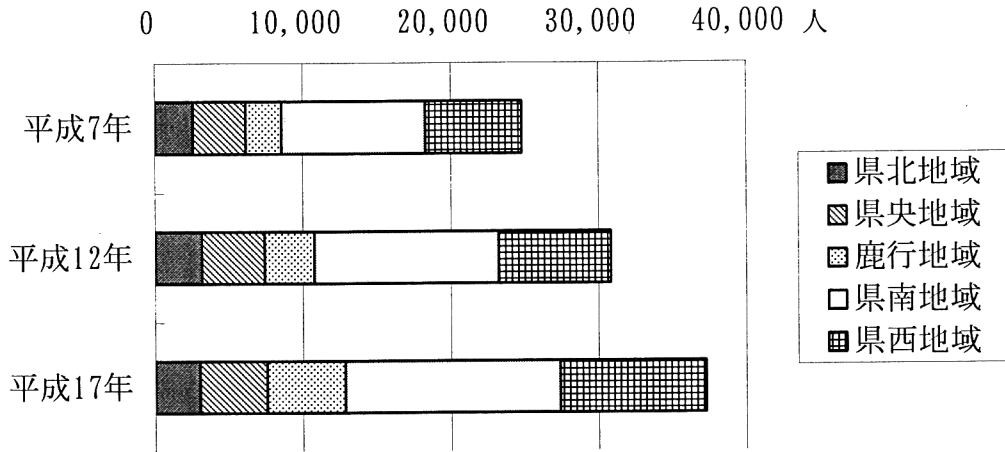
県・地域	外国人人口			増加率(%)		構成比(%)		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年 ～12年	平成12年 ～17年	平成7年	平成12年	平成17年
茨城県	24,798	30,848	37,301	24.4	20.9	100.0	100.0	100.0
県北地域	2,585	3,141	3,024	21.5	-3.7	10.4	10.2	8.1
県央地域	3,552	4,262	4,512	20.0	5.9	14.3	13.8	12.1
鹿行地域	2,418	3,376	5,291	39.6	56.7	9.8	10.9	14.2
県南地域	9,724	12,455	14,534	28.1	16.7	39.2	40.4	39.0
県西地域	6,519	7,614	9,940	16.8	30.5	26.3	24.7	26.6

表—36 国籍別外国人人口の推移(平成7年～17年) —茨城県—

国籍	平成7年	平成12年	平成17年	増加率(%)		構成比(%)		
				平成7年 ～12年	平成12年 ～17年	平成7年	平成12年	平成17年
総数	24,798	30,848	37,301	24.4	20.9	100.0	100.0	100.0
中国	3,251	5,285	8,415	62.6	59.2	13.1	17.1	22.6
韓国・朝鮮	4,701	4,818	4,720	2.5	-2.0	19.0	15.6	12.7
ブラジル	5,565	7,437	7,587	33.6	2.0	22.4	24.1	20.3
フィリピン	2,385	3,166	4,471	32.7	41.2	9.6	10.3	12.0
タイ	3,263	3,424	3,604	4.9	5.3	13.2	11.1	9.7
ペルー	1,344	1,175	1,368	-12.6	16.4	5.4	3.8	3.7
アメリカ	589	543	594	-7.8	9.4	2.4	1.8	1.6
イギリス	156	200	131	28.2	-34.5	0.6	0.6	0.4
その他	3,544	4,800	6,411	35.4	33.6	14.3	15.6	17.2

注) 「その他」には、国籍不詳を含む。

図一18 地域別外国人人口の推移(平成7年～17年)



図一19 国籍別外国人人口割合の推移(平成7年～平成17年)
—茨城県—

